自ら学び　他者と響き合い　未来を切り拓く　健やかな生徒の育成

庭中だより

2026年11月12日号　校長 原田 英和

生徒会サミット　「よりよい学校をつくるため」

11月7日（土）、大阪府議会議場で大阪府内の各市町村立中学校及び私立中学校の生徒会の代表が集まり、令和8年度大阪府中学校生徒会サミットが開かれました。今年は「生徒会ってなんのため？」をテーマに活発な議論が繰り広げられていました。守口市の代表として、本校からは令和8年度前期生徒会執行部の太野垣副会長と岸本体育委員長が参加しました。







＜太野垣さんの感想＞

今日のサミットでは、前に出て勇気を持って発言する難しさを感じました。サミットを良くしたいという思いで各校の代表が自分の学校の特色や、生徒会について積極的に発言していたことが、印象に残りました。滅多に経験できないようなことをすることができ、これを生徒会をはじめ、いろんな人に共有できたらいいなと思いました。生徒会に入ったときは、公約の達成や、生徒が庭中でよかったと思えるような学校作りが大切やと思って活動を行っていましたが、改めて生徒会とは生徒と学校をつなぐ架け橋だと思いました。生徒会執行部も中学校の生徒であり、執行部を含めて、生徒全員で学校を作っていくものと気づきました。そのためみんなが、学校の一員であり、みんなで学校を良くしていくことを伝えていかなければいけないと思いました。

＜岸本さんの感想＞

今まで生徒会をしてきて、庭窪の生徒のことを想い、行事を考えたりすることはたくさんあったのですが、自分たちがしているこの生徒会という仕事について、なんのためにあるのか。生徒会が大切にすべきことはなんだろうか。 そういった自分たちのことを考える機会はなかなかなかったので、すごくいい経験になりました。議題にもあった「生徒会ってなんのため？」というのは自分も生徒会をしていて何度か思ったことがありました。生徒会は、その学校の1人の生徒であり、生徒の声を先生方に伝える大切な架け橋としての役割でもあると私は改めて考えました。生徒の代表であることを忘れず今回の経験を活かし、これからの生徒会をはじめ、庭窪中学校がよりよくなるようにしていきたいと思いました。

更生保護女性会　正門横の花壇の整備をしていただきました

11月9日（月）、更生保護女性会の皆さんが花壇の整備をしてくださいました。きれいなお花を植えていただきありがとうございました。





